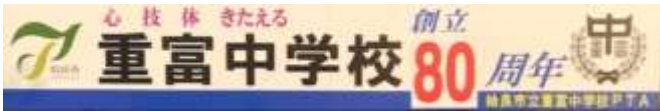




みどりの風



令和8年5月22日発行



「よりよい学校に向かって」

校長 塩津 一弘

先日、生徒総会を行いました。内容は、令和7年度後期活動報告及び令和8年度の目標説明、そして「過ごしやすい休み時間」についての全校討議。生徒会長の「学校をよりよいもにしていくため充実した時間にしましょう。」で始まった会は、生徒会役員、専門部長、副部長、議長のおかげでスムーズな運営、進行がなされていました。

いつものことながら、重中生の素晴らしさを感じたのは、全校討議。休み時間の過ごし方とおして、周りのことを考える、思いやりがある学校、どんな取組ができるか等について、全校生徒が、それぞれグループで話し合い、代表が発表を行ない、全体で共有するという活発な討議に感心することでした。この後、今回の討議を受けて、具体的な取組に進んでいくということですが、自分たちで学校をより良くしていく、自走する姿は頼もしいものです。さらに、私の話の中で全校生徒との全力ジャンケンをするとそのまとなり、熱気に圧倒されるとともに、全校のパワー、一体感に感服することでした。こんな素晴らしい生徒のために、ますます尽力したいと再認識させられる生徒総会に感謝の念が堪えません。引き続き、生徒、職員、保護者、地域みなさんとともに最高の重中づくりを推進していきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。



探究活動が本格始動！ SSH 指定校・国分高校に学ぶ

5月12日(火)に1年生で探究学習についての学習を行いました。今年度「地域をつなぐ」をテーマに、始良市だけに限らず鹿児島県の自然や文化、環境等の現状や問題点について考えることを探究課題として学習を始めます。このたび、文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」の指定を受け、全国的に高い実績を誇る国分高校の神園先生をお招きし、探究学習のガイダンスを実施しました。国分高校と重富中学校は令和7年度より連携協定を結んでいます。教育活動を神園先生からは、「探究活動の意義」をはじめ、質の高い「課題設定」や「情報収集」のコツについて、具体例を交えながら分かりやすくご指導いただきました。また、後半には国分高校の生徒(の皆さん)によるプレゼン発表も行われ、プロ顔負けの研究成果を直接見聞きする貴重な機会となりました。日本トップレベルの探究活動に触れ、1年生は大きな刺激を受けたようです。自分たちの問いを深めていくこれからの活動に、大きな期待が膨らむ一日となりました。この学習を通して、新たな発見や気づきにつながる学習にしていってください。

